

平成22年度 学校評価書

平成23年3月21日
 学校法人山名学園 山名幼稚園長 柴本みどり
 山名幼稚園学校評価委員会委員長 山田義輝

1. 幼稚園の教育目標
1. 元気な子 … ①戸外でなかよく遊ぶ子 ②正しい生活習慣を身につける子
 2. やさしい子 … ①情緒豊かで思いやりのある子 ②自分や友達を大切にすること
 3. 考える子 … ①物事に興味をもち考えたり工夫したりする子 ②最後までやりとげる子
 4. ありがとうのいえる子 … ①感謝の気持ちを持てる子 ②ものをたいせつにする子

2. 本年度の重点課題 「人と関わる心を育てる」
 人との関わりから生きる力を育むコミュニケーション能力を培うために、ひとりひとりの見取りと理解、援助を丁寧実践する。

3. 評価項目に対する自己評価及び学校評価

項目	評価点	自己評価結果	評価点	学校評価結果	
項目別評価	幼児の姿	B	子どもらしくすなおな子どもが多い。自分の思いをことばや態度で表現できない子、自分らしさを発揮できない子の個別支援にまだまだ努力が必要であった。	A	家庭環境、個性も様々な子ども達を、先生達はよく見ていると思う。一人ひとりの良さができるように先生達は努力していると思うが、先生の経験により、充分引き出せなかったり、親の満足を得られていない現実を認識していることが大事だ。
	幼児への対応	B	一人ひとりの子どもの理解に努力し、重点目標を意識して個別に支援してきたが、きめ細やかな対応となると充分とは言えない。次年度へ継続しての支援が必要である。	B	保護者の評価は多岐にわたるようだが、丁寧に一人ひとりに応じた対応、日々の生活の世話取りについては、熱心に取り組んでいると思う。
	保護者への対応	B	相談などには、迅速に丁寧に対応することを申し合わせ努力したが、「じっくり話を聞く」という点になると、時間の都合などで充分とは言えなかった。	B	保護者の考え方も時代と共に変化し、求めるものも変わってきていると思うので、園や先生達の苦勞も察する。しかし、子どもの幸せ、安全でよりよい園生活の実現に一丸となって取り組んで、丁寧に対応していることは評価できる。
	教育内容環境	B	日々の教育活動は、指導計画に基づき、特に学年ごと、全体の話し合いを密にして、よりよい活動が進められるよう努力した。今年度、正課内特別活動をあらたに導入し、園生活の中で子ども達が心豊かに幅広い実体験を積み重ねられるようにした。(園庭の芝生化など)	A	市唯一の私幼として、日々幼児教育の実践に努力していると思う。子ども達のためのよりよい環境作りとして、正課内特別教育の導入、園庭芝生化など今年度の取り組みに力を入れていたことは認める。
	アンケートからの気づき	A	保護者の“わが子に対する評価”はかなり厳しいものがあるとわかった。園生活や活動の細やかな情報伝達などで不足があったと思う。保護者と保育者の見解の相違も認められた。おおむね肯定的な評価は得たが、厳しい少数意見も真剣に受け止めたい。	B	自己評価の結果通り、保育者と保護者の意見や評価には、微妙なズレやニーズの相違があったことは否めない。しかしながら、幼稚園は方針に沿って教育活動を進めていく上で、思いやねらいがあるわけなので、それをしっかり訴えてぶれないよう頑張ってもらいたい。
本年度の総合評価		日々の教育活動に全職員が思いをひとつに取り組んだつもりであるが、職員一人ひとりの努力と全員のチームワークで支え合い補い合って取り組んだ結果が、必ずしも保護者の高い評価を得たとは言えない。今後更に保育者としての資質の向上に努力し実践を積み重ねることを確認し合った。	総合評価	教育環境が厳しい中で、よく努力されてきたと思う。ただ、その努力や日々の積み重ねの足跡が、周囲や保護者に充分伝わらないで損していることも多いようだ。自信を持ってアピールしてもらいたい。また、経験の浅い先生は、熱意を持って教育に真剣に取り組む、先輩先生を学んでいくよう育ててもらいたい。	
今後の課題 取り組みの考察		園全体の課題としては、特に園の教育についての情報発信に更なる工夫と努力が必要である。園児の確保、園経営の健全化の上からも、周辺地域子育て家庭に対する自園のアピールや理解の手立てを講じる検討が緊急課題である。また、保育者の資質の向上と教育内容の充実については、常に前向きな姿勢で具体的な目標を掲げ努力していきたい。	総合所見	園の自己評価を生かして、タイムリーに情報発信に努め、健全経営がなされるよう、地元地域はもとより、市全域の園児が集まるよう魅力的な園の雰囲気作り創意工夫を重ねていってもらいたい。私幼としての実績は充分あるのだから、自信を持って伝統を受け継ぎ、独自の質の高い教育実践に励まれることを期待する。	

※評価点の表示方法 A・・・十分達成されている B・・・達成されている C・・・取り組んでいるが成果が十分でない D・・・取り組みが不十分である